

教 科	受験番号
福 祉	

岐阜県では、平成20年から、「障害」を「障がい」と表記することとしているが、国や県が定める法令に規定されている用語、名称等や団体、機関等の固有名称は「障害」の表記を用いることとしているため、本試験においては一部「障害」の表記のままで出題している。

(1)「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 福祉編」に記載されている第3章各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 第1節指導計画の作成に当たっての配慮事項 について(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (1)単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、福祉の見方・考え方を働かせ、生活に関する事象を捉え、専門的な知識や技術などを基に実際の福祉に対する理解を深めるとともに、新たな社会福祉の創造や発展に向けて(ア)な学習活動の充実を図ること。
- (2)福祉に関する各学科においては、「社会福祉基礎」及び「(イ)」を原則として全ての生徒に履修させること。
- (3)福祉に関する各学科においては、原則として福祉科に属する科目に担当する総授業時数の(ウ)以上を実験・実習に担当すること。
- (4)「介護実習」や「介護総合演習」における現場実習及び具体的な事例の研究や介護計画作成に際しては、(エ)に十分留意すること。
- (5)地域や福祉施設、産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努めること。
- (6)障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、(オ)的に行うこと。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	実践的・体験的	介護総合演習	3分の1	プライバシーの保護	組織
②	系統的・体系的	介護福祉基礎	10分の5	チームワーク	組織
③	実践的・体験的	介護福祉基礎	10分の5	プライバシーの保護	積極
④	系統的・体系的	介護総合演習	3分の1	チームワーク	積極
⑤	実践的・体験的	介護総合演習	10分の5	プライバシーの保護	組織

(2)「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 福祉編」に記載されている科目「こころとからだの理解」について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

生活支援の根拠として、サービス利用者の日常生活の全てに関連する行為や緊急時・災害時、終末期の心理的・身体的側面についての基礎的な知識を習得させることをねらいとしている。また、日常生活での変化に気づき、必要に応じて保健医療職など他の職種と連携できる能力を育成することをねらいとしている。さらに、福祉用具と(ア)についても各生活支援の中で扱う。

このねらいを実現するため、次の①から③までの事項を身に付けることができるよう、〔指導項目〕を指導する。

- ① (イ)に応じた生活支援に必要なこころとからだのしくみについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。
- ② 地域での継続した生活の支援、緊急時・災害時における介護、終末期における(ウ)などについての課題を発見し、職業人に求められる(エ)を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。
- ③ 生活支援に必要なこころとからだのしくみについて自ら学び、(オ)に取り組むこと。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	介護ロボット	医療保険	看取り	知識	主体的かつ対話的
②	高性能パソコン	医療保険	看取り	知識	主体的かつ協働的
③	介護ロボット	生活場面	看取り	倫理観	主体的かつ協働的
④	高性能パソコン	生活場面	排泄介助	倫理観	主体的かつ協働的
⑤	介護ロボット	生活場面	排泄介助	倫理観	主体的かつ対話的

(3) 高度経済成長時代と社会福祉六法について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

日本の経済は、1950年代に自立のための基礎ができ、1950年後半から1960年代になると、世界に例を見ない高度成長を遂げた。1968年には、国民経済の規模はアメリカにつぐまでに拡大し、1人あたりの国民所得も西欧先進諸国の水準にまで達した。こうした経済的繁栄の一方で、産業構造の変化による人口の過密や過疎、公害の問題等が生じ、高度成長の「ひずみ是正」のために社会福祉の充実を求める国民の要求が高まっていった。1958年には(ア)が全面的に改正され、1959年には

(イ)が制定され、1961年にはすべての国民が何らかの医療保険と公的年金に加入する、いわゆる(ウ)体制が実現することとなった。

社会福祉の充実に対する国民の要望が高まるなかで、1960年代から社会福祉関連法や社会福祉施設の整備が行われるようになった。社会福祉関連法については、1960年に知的障害者福祉法、1963年に(エ)、1964年に母子福祉法が制定された。1960年以前に制定された社会福祉三法((オ)・児童福祉法・身体障害者福祉法)に、これらの新しい三法を加えて社会福祉六法と呼ばれるようになった。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	国民健康 保険法	国民年金法	国民皆保険・ 皆年金	老人福祉法	生活保護法
②	国民健康 保険法	国民年金法	国民皆保険・ 皆年金	救護法	介護保険法
③	国民年金法	国民健康 保険法	国民皆保険・ 皆年金	老人福祉法	介護保険法
④	国民年金法	国民健康 保険法	地域福祉	救護法	介護保険法
⑤	国民年金法	国民健康 保険法	地域福祉	老人福祉法	生活保護法

(4) 日本の少子化への対応・次世代の育成支援に関して、次の(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 1989年に、合計特殊出生率が1.57となり、少子化傾向がはっきりと特徴づけられた。通常、ある国の人口が一定に保たれるための数値は2.1程度とされているが、これを大きく下回った。
- (イ) 1994年、政府は少子化対策として、「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について」(エンゼルプラン)を発表した。特に、「緊急保育対策等5か年事業」が策定されたことにより、各市町村において、低年齢児(0～2歳児)等を対象とした保育サービス等が展開された。
- (ウ) 1999年、「重点的に推進すべき少子化対策の具体的実施計画について」(新エンゼルプラン)が策定され、保育サービスの他、母子保健、教育、雇用などの対策が行われた。
- (エ) 2003年、少子化対策に本格的に取り組む法律として、少子化社会対策基本法(少子化対策基本法)と次世代育成支援対策推進法が制定された。この法律では、子育てと仕事の両立支援にねらいを定め、すべての市町村・都道府県に次世代育成支援行動計画の策定を義務づけた。また、一定規模以上の事業主にも、企業としての行動計画の策定を義務づけ、職場における子育て・仕事の両立支援の取り組みが要請された。
- (オ) 厚生労働省では、2001年以降、継続的に「待機児童ゼロ作戦」に取り組んでいる。また、政府は2004年に子ども・子育て応援プランを発表し、子育て支援対策を体系的に方向づけた。引き続き、保育所の入所希望待機児童対策などが進められた。2010年、子ども・子育てビジョンを発表し、めざすべき社会への政策4本柱と12の主要施策を策定した。子ども手当の制度化など、新しい対策が実施に移された。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	×	×	×
②	○	○	○	○	○
③	○	×	○	×	○
④	×	×	○	○	○
⑤	○	○	×	×	×

(5) バリアフリーに関して適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 建造物や交通機関などの階段や出入口の段差は物理的バリアといえる。
- ② バリアフリーは身体障害者にとってのバリアを除去することで高齢者には関係がない。
- ③ 人々の意識のなかにある差別や偏見などのバリアの除去は、こころのバリアフリーといえる。
- ④ 点字や字幕などの情報不足などは、情報のバリアといえる。
- ⑤ 心身の障害などを理由に免許取得などを法律で制限することは、制度のバリアといえる。

(6) 感染症に関する (ア) ~ (オ) の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。

(ア) 病原体が体内に侵入しても発病するとは限らない。病原体は感染経路を通して宿主に移る。感染して症状が出るまでを潜伏期といい、潜伏期は病原体によって異なる。

(イ) 感染力が強く、治りにくい疥癬はノルウェー疥癬と呼ばれている。疥癬を発見したのはノルウェーの学者であることから、命名されている。原因となるダニの種類は同じであるが、その違いは身体に寄生するダニの数であり、1,000倍以上も多いとされる。

(ウ) 胃腸炎を起こすウイルスのひとつがノロウイルスである。感染後、24~48時間で症状が現れる。下痢とおう吐が中心で、突然噴水のように吐くことがある。腹痛や発熱を伴うことがあるが、1日程度で治る場合や感染しても発症しない人もいる。

(エ) 大腸菌のなかで特に強い病原性を持つものを、腸管出血性大腸菌といい、そのひとつであるO157の感染が原因となる。食中毒のひとつであるが、伝染力が弱く、施設などでは集団発生することはない。

(オ) 結核は結核菌の感染によって主に肺に炎症を起こす病気であり、感染経路は経口感染である。かつては国民病といわれ、1950年までは死因の第1位であった。抗結核薬の開発、健康診断やツベルクリン検査とBCGの普及、栄養改善などにより激減した。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	○	○	×
②	○	○	×	○	○
③	×	×	×	×	○
④	○	×	○	×	○
⑤	○	○	○	×	×

(7) 介護従事者の健康管理について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスであり、健康を保持・増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるという考え方を(ア)という。この背景にあるのは、まったく病気のない状態を健康というのではなく、たとえ病気や障害があっても(イ)に向けて前向きに生きる状態が健康というと考え方である。

心の健康を守る(ウ)には、まず自分自身がストレスや心の状態の変化に気づき、ストレスを予防・軽減あるいは対処すること、つまり(エ)が重要である。心の健康を回復するには、自分に適したストレス解消法などを取り入れるとよい。

(オ)(1972年制定)では、「職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的(第1条)」と定め、事業者の責務を明確にしている。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	ヘルスプロモーション	自己実現	メンタルヘルスケア	セルフケア	労働基準法
②	バーンアウト	労働災害の防止	個別計画	自己実現	労働基準法
③	ヘルスプロモーション	自己実現	メンタルヘルスケア	セルフケア	労働安全衛生法
④	バーンアウト	労働災害の防止	メンタルヘルスケア	セルフケア	労働安全衛生法
⑤	ヘルスプロモーション	労働災害の防止	個別計画	自己実現	労働安全衛生法

(8) チームで安全な環境づくりに取り組む方法として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① サービス担当者会議は、家族の事情を考慮して職員だけで実施して、会議での検討内容を家族に報告する。
- ② 安全な環境づくりやケアの工夫は、職員がよいと思ったことは、一人ですぐに実行して利用者に対応することが必要である。
- ③ 事故が発生した場合、利用者への対応は最優先で行い、事故報告は利用者の状況が落ち着いてから行う。
- ④ 事故の再発防止策は、介護職のチームだけではなく、看護職や栄養士、介護支援専門員等、他職種参加のもと、多面的に検討できる場をもつことが重要である。
- ⑤ 重大な事故が発生した場合、上司に報告するよりも先に、事故にかかわった介護職が家族へ連絡して状況報告することが望ましい。

(9) コミュニケーションに関する (ア) ~ (オ) の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①~⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 回想法とは、グループアプローチにおいて、計画的な時間、回数 of 会合のなかで、高齢者に人生経験を話し合ってもらうことにより、記憶の回復や日常生活の関心、コミュニケーションを深めることを目的とした技法である。
- (イ) 焦点化とは、利用者の話す内容を受け止め、介護職が自分のなかで理解し、まとめたうえで、全体として利用者に戻す（フィードバックする）ことである。例えば、10ある内容をいくつかにしぼり込んで、利用者が選び取る過程を促すものでもある。
- (ウ) 介護職自身のさまざまな動作や視線は、自分自身が気づかないうちに、相手に悪影響を与えていることもある。自分の動作や言動をたえず意識し注意しなければならない。メラビアンは、介護職が利用者とかかわる時の5つの基本動作を示している。
- (エ) ベッド上で安静の必要があり寝た状態の人とのコミュニケーションでは、聞き手が高い位置から見下ろす格好になる。できるだけ視線を相手と近い高さにしてアイコンタクトできるようにする。
- (オ) 支援を必要としている人は、できないことや欠点ばかりに目が向けられ、弱い存在だとみなされがちである。しかし、実際には多くの長所や資質などを持ちあわせている。それらを活用してみずからが課題を解決していく力も持っている。支援を行う際には、相手が持っている力を十分に活用するというストレングスの視点からかかわりを継続する必要がある。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	○	○	×	×	○
②	○	○	×	○	○
③	○	×	○	×	×
④	×	○	○	×	×
⑤	×	×	×	○	○

(10) 次の(ア)～(オ)に最も関係のある語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 利用者を中心に家族や周囲の人、利用している病院や介護事業所などの関係を強弱で示したり、資源やエネルギーの流れる方向を矢印で示し、利用者との関係が一目でわかるようにしたもの。
- (イ) 家族の状況を図示したもので、家族関係図といわれる。視覚的に理解できるよう文字を少なくし、記号を用いる。
- (ウ) 利用者の現在の行動や気がかりな点、症状、状態の変化、重大なできごと、利用者のよい点あるいは持っている力に焦点を当てたもの。
- (エ) 1件の重大な事故・災害の背景には29件の軽微な事故・災害があり、その背後には300件のヒヤリ・ハットが存在するというもの。
- (オ) 個人情報を取り扱うすべての者は、その目的や様態を問わず、個人情報の性格と重要性を十分に認識し、適正に取り扱わなければならないと、2003年に制定された。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	エコマップ	ジェノグラム	フォーカスチャート	ハインリッヒの法則	個人情報の保護に関する法律
②	アセスメントシート	要約記録	フォーカスチャート	バイステックの7原則	個人情報の保護に関する法律
③	エコマップ	要約記録	フォーカスチャート	ハインリッヒの法則	成年後見制度
④	エコマップ	ジェノグラム	逐語記録	バイステックの7原則	成年後見制度
⑤	アセスメントシート	ジェノグラム	逐語記録	ハインリッヒの法則	成年後見制度

(11) 栄養に関する(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 炭水化物は、人の消化酵素で分解される糖質と消化酵素で分解されない食物繊維に分けられる。
- (イ) 食物繊維は、血糖値やコレステロール値の上昇を抑えるはたらきを持つものと、排便を促進させ、大腸がんの発生を抑えるはたらきを持つものがあるといわれている。
- (ウ) 腸内細菌は年齢や食生活により、種類や数も違ってくる。腸内細菌の中でビフィズス菌や乳酸菌は善玉菌、大腸菌やウェルシュ菌は悪玉菌と呼ばれている。たんぱく質や脂質の過剰摂取は悪玉菌を増やす原因になる。
- (エ) いも類の主成分はでんぷんである。いも類のビタミンCは野菜に比べ調理や貯蔵による損失が大きい。
- (オ) きのはカルシウムの吸収促進や骨・歯の成長促進作用があるビタミンAを多く含む。ビタミンAは日光(紫外線)に当てることで増加する。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	×	○	×
②	×	○	○	×	○
③	×	×	×	○	○
④	○	○	○	×	×
⑤	○	×	×	×	×

(12) 食生活における家事支援に関する(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 炊飯は、洗った米重量の1.5倍、容量では1.2倍の水を加えて吸水させ加熱する。米でんぷんを糊化させるため、98℃以上を20分間保つ。
- (イ) 調理でできる減塩法として、だしのうま味を利用したり、しょうが、大葉、みょうがなどの香味野菜を利用したりする方法もある。
- (ウ) 高い頻度でアレルギーを起こすえび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生を多く含む食品については、その食品が含まれていることの表示を推奨している。
- (エ) 冷蔵庫内は清潔にし、7割程度の保管量にし、隙間を作って温度が一定に保てるようにすることが望ましい。
- (オ) 塩味は調味の基本の味である。しょうゆの塩分から算出すると、塩と同程度の塩味にするには約6倍の量が必要である。味噌の場合は、塩分量により異なるが、約8～10倍を用いる。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	○	○	×	○	×
②	×	○	○	×	○
③	×	×	○	○	○
④	○	○	×	○	○
⑤	○	×	○	○	×

(13) 食品添加物の種類とその例の組み合わせとして正しくないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 甘味料 — キシリトール、アスパルテーム
- ② 保存料 — ソルビン酸、シソ抽出物
- ③ 酸化防止剤 — ビタミンA、乳酸カルシウム
- ④ 発色剤 — 亜硝酸ナトリウム、硝酸ナトリウム
- ⑤ 増粘安定剤 — アルギン酸ナトリウム

(14) 消費生活に関する内容について正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 土地・建物（一戸建て）などの資産をもつ高齢者を対象に、それを担保に自治体や金融機関から定期的に生活資金の融資を受け、亡くなった後に担保物件を処分して借入金を一括返済する制度をリバースモーゲージ制度という。
- ② ホームバンキングとは、あらかじめ毎月の支払額を決めてクレジット会社などへ返済していく方法である。金利手数料はその月の債務額により計算され、債務がある間は支払いが続く。
- ③ 代金を先払いで利用するカードをデビットカードという。
- ④ テレビやカタログの通信販売で高齢者が不本意な商品購入した場合、クーリング・オフ制度は無条件で適用される。
- ⑤ 日常生活自立支援事業は消費生活センターが主体となっている。契約が結べる程度の能力があり、金銭の管理が困難であれば、生活支援員が派遣され、様々なサービスを受けることができる。

(15) ①～⑤の名称とその説明の組み合わせとして正しくないものを一つ選べ。

- ① P E M — たんぱく質・エネルギー欠乏（症）
- ② B M I — 体格指数
- ③ J A S — 日本工業規格
- ④ U P F — 紫外線保護指数
- ⑤ B D R 指標 — 口腔清掃の自立度判定基準

(16) しみの種類に応じた処置に関する(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) しょうゆ等の水溶性のしみに対して、水をつけた綿棒や歯ブラシで、しみの周辺から中心に向けてたたくとよい。

(イ) ドレッシング等の水油混合のしみに対して、台所用洗剤を水に溶かし、しみの周辺から中心に向けてたたくとよい。

(ウ) 口紅等の油性のしみに対して、ベンジンを使ってしみ抜きをした後、洗剤を使って洗うとよい。

(エ) 泥はねの汚れに対して、歯磨き粉をつけてもみ洗いしたり、ご飯粒をすりこんだりするとよい。

(オ) ガムが付いた場合は、温めて柔らかくして剥がすとよい。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	×	○	○	○	×
②	×	○	×	○	○
③	○	×	○	×	○
④	○	×	×	○	○
⑤	○	○	○	×	×

(17) 終末期に関する語句について、説明文が正しくないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

	語句	説明文
①	緩和ケア	がん患者などに対して、痛みや呼吸困難などの身体的症状、うつなど精神的症状、死の恐怖など霊的な苦痛を和らげるためのケア
②	インフォームド コンセント	利用者の権利を擁護したり、ニーズの充足をはかるために、家族や関係職種・関係機関に対して、援助者が利用者の立場を主張したり、代弁したりすること
③	チェーンストークス 呼吸	10～30秒ほど呼吸が止まり、浅めの呼吸からゆっくりと深く大きな呼吸へ、というリズムを繰り返すこと
④	チアノーゼ	血液中の酸素が欠乏して、唇、爪、耳、頬などが青黒く見える状態のこと
⑤	グリーフケア	遺族へのケアをいい、適切な時期を選んで遺族を訪問したり、定期的に連絡したりすること

(18) 利用者の理解を深める質問の技法について正しくないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 閉じられた質問は、「はい」または「いいえ」で答えられる質問、および簡単に2～3の単語で答えられる質問である。認知機能の障害がコミュニケーション上の障害をもたらしている利用者の場合には、この閉じられた質問をできる限り有効に用いてコミュニケーションを進めることもできる。
- ② 開かれた質問は、相手に自由を認め、相手が自分自身の選択や決定による答えを見つけることを促す質問である。利用者が自分の世界を広げて、場合によっては今の状態よりも深く自分や周囲の世界を知ることが促し、話の展開をリードすることができる。
- ③ 矢継ぎ早の質問は、たくさんの質問を短時間に行うため、質問を受ける側は感情を込めて聴くことが困難になる。利用者は信頼感をもつどころか、逆に攻撃されたと思うこともあるので、利用者が質問に対して、十分に考えられる時間を確保することが大切である。
- ④ 「なぜ？」と問う質問は、日常の会話の中では、頻繁に使われている。利用者とのかかわりの過程でも、感情や思いに焦点があたることを避けるために積極的に用いることが望ましい。
- ⑤ 介護職には、「私はあなたのことを考えています」というメッセージを相手に伝えたいという気持ちが背景にあるが、質問の仕方によっては、利用者に異なって伝わることもある。相手の状況をしっかり理解して、言葉を選んで尋ねる必要がある。

(19) 次の(ア)～(オ)に最も関係のある語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 家族の介護負担を軽減するために、家族等の介護者に代わり、一時的に介護を提供するサービスのこと。具体的には放課後等デイサービスなどがある。
- (イ) 再婚などによって、血縁のない親子・きょうだいなどの関係で構成された家族のこと。
- (ウ) 話しことばを視覚化するツールのこと。母音を口の形であらわしながら、子音を手の形であらわすという方法で、幼いときによく使うコミュニケーションの方法。
- (エ) 血液透析を行う場合、1分間に約200mlの血液流量を透析装置に送りこみ、また、体内に戻す必要があり、このための血液の出入り口のこと。
- (オ) 発熱とは違い、衣服内の温度や室温・外気温の上昇時などに、からだで発生された熱が放散された熱よりも大きくなった場合に体温上昇として起こること。また、高齢者や幼児など、体温調節機能がスムーズにはたらかない場合に起こりやすくなる。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	レスパイト ケア	リカバリー	キュード・ス ピーチ	ピークフロー メータ	うつ熱
②	レスパイト ケア	ステップ ファミリー	コミュニケー ションエイド	ピークフロー メータ	うつ熱
③	レスパイト ケア	ステップ ファミリー	キュード・ス ピーチ	バスキュラー アクセス	うつ熱
④	ジョブ コーチ	ステップ ファミリー	コミュニケー ションエイド	バスキュラー アクセス	ガワーズ徴候
⑤	ジョブ コーチ	リカバリー	キュード・ス ピーチ	バスキュラー アクセス	ガワーズ徴候

(20) 医療の倫理上の原則として正しくないものを、次の①～⑦の中から一つ選べ。

- ① 医療の担い手は、医療を受ける者の不安や苦痛に共感するとともに、その責任を自覚し、自己の人格を高めるように心がけ、医療に関する知識及び技術の習得に努める。
- ② 医療は、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし、医療の担い手と医療を受ける者との信頼関係に基づき、医療を受ける者の心身の状況に応じて行う。
- ③ 医療の担い手は、医療を受ける者に対し、良質かつ適切な医療を行うように努める。
- ④ 医療の担い手は、医療を提供するにあたり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るように努める。
- ⑤ 医療の担い手は、職務上知り得た秘密を守る。
- ⑥ 医療の担い手は、他の医療関係者等との連携協力に努める。
- ⑦ 医療の担い手は、医療を通じて国民の健康寿命の延伸に努める。

(21) 呼吸のしくみと喀痰吸引について、次の(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 空気は口・鼻を通り、のどの奥の咽頭を通り、喉頭、気管、気管支、肺、肺胞へと流れる。口・鼻から気管支までを上気道という。
- (イ) 空気の出し入れによって体内への酸素の取り込みと二酸化炭素の体外への吐き出しをするはたらきを換気という。換気が低下することによる病気には、筋萎縮性側索硬化症や気管支喘息などがある。
- (ウ) 肺に運ばれた空気と血液との間で、酸素や二酸化炭素の受け渡しをするはたらきをガス交換という。ガス交換は肺胞の数が少なくなったり、肺胞の膨らみが悪くなる慢性閉塞性肺疾患などの肺の病気や肺以外の病気によってはたらきが低下し、呼吸に問題を生じる。
- (エ) 喀痰吸引は吸引チューブを口や鼻から挿入して、痰を吸い出すことで、口のなかから管を挿入する場合を口腔内吸引、鼻の穴から挿入する場合を鼻腔内吸引という。
- (オ) 痰が貯留することによって空気の通り道を塞いでしまっている状態を気道閉塞といい、この状態のときには、呼吸の苦しさや呼吸の仕方の変化、顔色が青紫色っぽく変化するということが起こる。また、痰の貯留などによって、からだのなかの酸素が不足してしまう状態を低酸素状態という。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	○	○	×	×	○
②	×	×	×	○	×
③	×	○	○	○	○
④	○	○	×	×	×
⑤	×	×	○	×	○

(22) 認知症について、(ア)～(オ)に適する病名を語群から選び、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 発症の時期は明確ではなく、いつともなくもの忘れが始まり、ゆっくりと進行していく。記憶障害、思考と判断力の障害、見当識障害、神経症状等がみられる。
- (イ) 脳卒中を契機として発症し、片麻痺や言語障害などの局所症状を伴う発作型や徐々に出現する緩徐型がある。
- (ウ) 脳の全体に異常な物質が沈着して起こり、病態の原因はよくわかっていない。パーキンソン症状と幻視体験もみられる。
- (エ) 初老期に発症する代表的な認知症の疾患である。人格の変化が特徴で、人が変わったような行動を繰り返す。
- (オ) 急速に進行する認知症で、50～60歳代に起こることが多い。初発症状から6～12カ月で死に至る。認知障害と運動失調の症状がある。

【語群】

- (A) 正常圧水頭症
- (B) 前頭側頭型認知症
- (C) 血管性認知症
- (D) アルツハイマー型認知症
- (E) レビー小体型認知症
- (F) 慢性硬膜下血腫
- (G) クロイツフェルト・ヤコブ病

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	(D)	(A)	(F)	(E)	(B)
②	(D)	(C)	(E)	(B)	(G)
③	(D)	(A)	(E)	(C)	(G)
④	(E)	(C)	(F)	(B)	(A)
⑤	(E)	(A)	(D)	(C)	(B)

(23) 眼を構成する主な部位とそのはたらきについて、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 水晶体とつながっていて、水晶体の厚さの調節をする部位

(イ) 視細胞と視神経を含む、柔らかく剥離しやすい膜

(ウ) 水晶体と網膜の間を満たす、無色透明でゼリー状の物質で、眼球の内圧を保つはたらきをする部位

(エ) 強膜の内面に位置し、血管と色素に富む膜

(オ) 眼瞼に続く粘膜で、血管や神経に富む部位

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	眼房	角膜	硝子体	脈絡膜	結膜
②	毛様体	角膜	眼房	脈絡膜	結膜
③	硝子体	強膜	毛様体	結膜	硝子体
④	毛様体	網膜	硝子体	脈絡膜	結膜
⑤	眼房	網膜	毛様体	結膜	硝子体

(24) 次は口腔の構造と清潔について述べたものである。(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

口腔には、歯、舌(味蕾を含む)、粘膜、唾液腺などがあり、食べ物の摂取の他、発音や呼吸、話す、顔の形を整えるなどの役割を持つ。口腔は温度や湿度、栄養など、(ア)が繁殖しやすい条件がそろっているため、清潔にすることが必要である。舌苔や歯周病、虫歯がある場合は(イ)の原因となる。唾液は1日に約(ウ)分泌され、(エ)、消化、口腔の(オ)作用がある。高齢になると分泌量が減少し口腔内が汚れやすくなるため、口腔ケアがますます重要となる。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	糸状乳頭	障害	1 L	咀嚼	代謝
②	微生物	口臭	1 L	食塊形成	自浄
③	食べかす	体臭	1 0 0 ml	食塊形成	感染予防
④	糸状乳頭	障害	1 0 0 ml	バリア機能	自浄
⑤	微生物	口臭	5 0 0 ml	バリア機能	感染予防

(25) 血液について、次の(ア)～(オ)の説明が適切であるものを「○」、適切でないものを「×」として、その組み合わせの正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- (ア) 赤血球数は成人男子で約500万/mm³、成人女子で約450万/mm³あり、ヘモグロビンによって酸素の運搬を行う。赤血球は骨髄中で生成され、血流中の寿命は約30日である。肝臓および脾臓で破壊される。
- (イ) 血小板は約20万～40万/mm³含まれている。血液の凝固の際にはたらき、骨髄で生成され、その寿命は約半日で、脾臓で破壊される。
- (ウ) 血液は体重の約7～8%を占めている。比重は1.055～1.066、pHは7.35～7.45で弱アルカリ性である。
- (エ) 血漿は血液の約55%を占める液体成分で、その90%は水である。それ以外にはたんぱく質が含まれ、線維素原、アルブミン、グロブリンに大別され、総称して血漿たんぱくという。
- (オ) 白血球数は約4000～約8500/mm³で、体内に入った細菌や異物に接近し食作用というはたらきでとらえて処理する。骨髄やリンパ節で生成され、肝臓や脾臓で破壊される。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	○	○	○	×	×
②	×	○	×	○	○
③	○	×	×	○	×
④	×	×	○	○	○
⑤	×	×	×	×	○

(26) 腎機能障害について、(ア)～(オ)に適する語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) ろ過のはたらきが悪くなり、1年以上にわたって、たんぱく尿や血尿などの症状が持続する状態。

(イ) 全身の臓器に原因不明の炎症が起こる自己免疫疾患の一つで、症状は多岐にわたる。

(ウ) 老廃物が体内にたまり、吐き気・嘔吐、高血圧、息苦しさ、めまい、イライラ感、倦怠感、浮腫などのさまざまな症状がでる。

(エ) 腎臓内に体液が貯留した袋が一つ以上出現する病気。

(オ) 血糖のコントロールが悪い場合に、糸球体に障害が起こる。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	慢性腎盂腎炎	全身性エリテマトーデス	のう胞腎	腎臓結石	糖尿病性腎症
②	急性腎不全	痛風腎	尿毒症	のう胞腎	慢性腎盂腎炎
③	慢性糸球体腎炎	痛風腎	腎硬化症	ネフローゼ症候群	慢性腎盂腎炎
④	慢性腎盂腎炎	急性腎不全	のう胞腎	腎臓結石	間質性腎炎
⑤	慢性糸球体腎炎	全身性エリテマトーデス	尿毒症	のう胞腎	糖尿病性腎症

(27) 内分泌腺のホルモンのはたらきについて正しくないものを、①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 副腎皮質から分泌される糖質コルチコイドは、血糖の増加を促進する。
- ② 膵臓から分泌されるグルカゴンは、血糖の増加を促進する。
- ③ 脳下垂体前葉から分泌されるプロラクチンは、黄体ホルモンの分泌と乳腺の乳汁の分泌を促進する。
- ④ 脳下垂体後葉から分泌されるバソプレッシンは、子宮筋の収縮を促進し、乳汁を出す。
- ⑤ 卵巣から分泌されるプロゲステロンは、排卵を抑制し、妊娠を持続させ、乳腺を発育させる。

(28) ケアマネジメントの歴史的背景について正しくないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 1970年代のアメリカにおいて、精神科病院を退院した精神障害のある人の地域生活を支援するため「ケースマネジメント」として発展した。
- ② イギリスでは、1990年に「国民保健サービスおよびコミュニティケア法」が制定されたことにより、利用者の「ケア」をマネジメントすると考えられるようになり、「ケアマネジメント」とよばれるようになった。
- ③ 日本では、1989年に老人介護支援センターが、約1万か所、全国的に設置された。
- ④ 日本において、老人介護支援センターは、1994年の老人福祉法の改正により、老人福祉施設の一つに位置づけられ、在宅の要介護高齢者およびその介護者のニーズに対応したサービスが総合的に受けられるようになった。
- ⑤ 日本では、2000年の介護保険法の施行に伴い、ケアマネジメントの考え方が導入され、「介護支援専門員」という職種が位置づけられ、ケアマネジメントを担うこととなった。

(29) 人間の発達段階と発達課題に関して、(ア)～(オ)と最も関係の深い人物の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

(ア) 高齢者に対する偏見を反映した主な固定観念として、病気、孤立、貧困等の九つを指摘した。

(イ) 社会的老化についての著書『私は三年間老人だった』がある。

(ウ) 「老年的超越」を提唱した。

(エ) ライフコース4段階論を表明した。

(オ) 老齢期的人格特性をまとめた。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
①	パルモア	ムーア	トレンスタム	ラスレット	シャナン
②	ムーア	ラスレット	エリクソン	ニューガーデン	ハヴィガースト
③	ムーア	ユング	ニューガーデン	シャナン	ハヴィガースト
④	シャナン	ユング	エリクソン	パルモア	ニューガーデン
⑤	パルモア	ムーア	トレンスタム	ユング	ラスレット

(30) 次のできごとを、時代の古いものから並べたとき、3番目のできごとを次の

①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 青函トンネル開通
- ② 満州事変はじまる
- ③ 東京タワー完成
- ④ 大阪万国博覧会開催
- ⑤ LPレコード販売開始

令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 高等学校 福祉

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	⑤	③	①	②	②	⑤	③	④	②	①

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	④	④	③	①	③	⑤	②	④	③	⑦

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	③	②	④	②	④	⑤	④	③	①	③

